

## 演題発表時に利益相反状態の開示をお願いします

1. 全ての発表において、利益相反状態の有無について開示を行ってください。
2. 口頭発表の際に、以下のスライドを追加して開示をしてください。

### <利益相反状態にある場合の雛形>

第 17 回 NPO 法人 日本不妊カウンセリング学会学術集会

#### 利益相反状態の開示

筆頭演者氏名：〇〇 〇〇

所 属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。

役員・顧問職/寄付講座所属

〇〇製薬株式会社

講演料など

□□製薬株式会社

研究費/奨学寄付金

株式会社××ファーマ

### <利益相反状態にない場合の雛形>

第 17 回 NPO 法人 日本不妊カウンセリング学会学術集会

#### 利益相反状態の開示

筆頭演者氏名：〇〇 〇〇

所 属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

※利益相反状態の有無の基準は以下の通りです。

- (1) 企業や営利を目的とした団体の役員や顧問職としての報酬額  
1つの企業または団体からの報酬が年間100万円以上
- (2) 研究に関連した企業株式の保有  
1つの企業について1年間の株による利益（配当，売却益の総和）が100万円以上，または当該企業の全株式の5%以上。
- (3) 研究に関連した企業，団体からの特許権使用料  
1つの特許権使用料収入が年間100万円以上
- (4) 研究に関連した企業，団体から，会議の出席（発表）に対し支払われた日当（講演料など）  
1つの企業または団体からの年間の日当が合計50万円以上
- (5) 研究に関連した企業，団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料  
1つの企業または団体からの年間の原稿料が合計50万円以上
- (6) 研究に関連した企業，団体から提供された研究費や奨学寄付金（奨励寄付金）  
1つの研究に対して支払われた総額が年間200万円以上
- (7) その他の報酬（研究とは直接無関係な旅行，贈答品など）  
1つの企業または団体から受けた報酬が年間5万円以上